

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和2年度 第3回教育に関する事務の点検・評価委員会
事務局（担当課）		庶務課
開催日時		令和3年1月7日（木）午前9時30分～12時
開催場所		豊島区立南池袋小学校
議 題		<p>(1) 令和元年度評価実施事業 取り組み状況報告</p> <p>① 子どもスキップ・学童クラブ(放課後児童健全育成)事業</p> <p>(2) 評価対象事業のヒアリング及び質疑応答</p> <p>① 子どもスキップ運営事業</p> <p>② 学校施設整備の補助金</p>
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	細谷 美明 木村 文香 岩井 由美子（敬称略）
	その他	教育長、教育部長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長
	事務局	庶務課長

審 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
細谷委員長	【開会】 ただ今より、「第3回教育に関する事務の点検・評価委員会」を開会します。
副島庶務課長	まず、事務局より、本日の傍聴について報告をお願いします。
細谷委員長	はい。本日の傍聴希望者はありません。 それでは、議事に入ります。 初めに第1回の委員会で保留となっておりました令和元年度の評価対象事業の一つ子どもスキップ・学童クラブの事業について、評価後の取り組み状況についてご報告お願いいたします。放課対策課長お願いいたします。
小野放課後対策課長	【資料1「令和元年度評価実施事業 取り組み状況報告」の説明】 子どもスキップ・学童クラブ(放課後児童健全育成)事業
細谷委員長	放課後対策課長ありがとうございました。 昨年度の状況について説明が終わりました。各委員、何かご質問ございますか。
木村委員	基本的なところですが、運営自体を公設民営にしている自治体が多いかと思いますが、私は公設公営のほうが職員や運営の点で質が高いという考えを持っています。その点における今後の方針について教えてください。あと、質の高さの点に指導員の研修や交流等がかかわってくると思うのですが、どのような形になっているか教えていただければと思います。
小野放課後対策課長	子どもスキップは、以前は区長部局にございまして、どちらかという和学校と区が連携を図りつつも、指揮命令権が異なる部分もあり、なかなか学校の協力が得られなかった部分もありました。それが、29年度に教育委員会に移管されて、非常に学校との連携がとれるようになってきました。 他区では、公設民営がありますが、やはり子供たちを学校から放課後まで連携

	<p>して見守っていくには豊島区方式が良いのではないかと、もちろん職員の管理などの部分で負担、コストがかかる部分はあるが、子供側からみると非常に一連的な対応がとれるということ、教育委員会の中に、学務課・指導課・庶務課・そして放課後対策課があるので、教育委員会の中でも連携がとりやすいし、学校自体も連携がとりやすいです。そういうことも考えると、この体制を維持していきたいと考えております。</p> <p>職員の研修についてですが、OJTを実施しております。これは、我々本庁側が企画するのではなくて、所長レベルがOJTについて会議体をもって、今年をこういうの実施していこうというのを研修計画を自主的に作成しています。昨年度は7回実施しています。そういう形で自分たちのスキルアップを図りながら、あるいは交流・共有の場を作って実施をし、質の高い環境を保っております。</p>
木村委員	ありがとうございます。
金子教育長	私からもよろしいでしょうか。
細谷委員長	はい、金子教育長
金子教育長	<p>運営の方針ですが、元々子どもスキップは児童館時代から民営化の話は大きくなかったです。他区で実施しているのは重々承知しておりますが、職員の人数が足りないなど、民営化しても結局同じだと思っております。また、再来年に児童相談所が設置予定ですが、児童福祉の視点を強めていこうと思ったら、職員じゃないと駄目だと考えています。今でも十分とも思っていないし、もっと研修とかをやっていないといけないと思っておりますが、保育園でいろいろと気づいたことが子ども家庭支援センターでいろいろとチェックしてもらっている、それおと同じように、学校の時間帯は学校の先生がみるが、放課後は先生がみていないわけなので、唯一違う目でみれるのは職員だと考えております。</p> <p>今後も、単に職員がいるというわけではなく、公のところでチェックするという意味で公設公営が重要だと感じております。そういう意味では、早々に民営化されないだろうと考えています。</p>
細谷委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>過去に区長部局からの似た事例に関わったことがございますが大変でした。やはり公設公営は住民からの信頼が民営と異なると感じました。</p>
金子教育長	今は大変ご協力をいただいているが、当時は多少の反発がありました。子ども

<p>細谷委員長</p>	<p>スキップの所長が職員室に入って、校長から指示を受けることができるような関係にはやくしたかった、それがだいたい10年ぐらいかかりました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それともう一つ、先ほどの小野放課後対策課長からの説明の中に、専門の資格を持っている人を意図的に入れている、これを素晴らしいと思ったのですが、これはそういった資格を持っている人は別枠で採用ですか、それともまったくフリーで、たまたま資格を持っていて、選考の中で優位なものとして判断しているのでしょうか。</p>
<p>小野放課後対策課長</p>	<p>色々職種はありまして、基本的に学童クラブで働ける職員というものは、先ほど申し上げた資格がないと働けないということになっております。例えば、事務の職員が子どもの面倒をみるというのはできない、子供スキップで働けないということです。それ以外に、時間が余った主婦とか学生、そういった方は無資格でも大丈夫だが、長い時間働く方、主になる方は、保育士だとか、教員面鏡を持っているだとか、福祉施設何年働いているだとか、そういう入口になっております。</p>
<p>細谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。そうした場合の成果は出ていますか。</p>
<p>小野放課後対策課長</p>	<p>確かに資格を持っている人が入ってすぐに働けるかというところではありませんが、やはりOJTを通じて職場で所長たちがしっかりと育成を行っております。それと、東京都でも研修があり、それには区も積極的に参加しているので、かなりそういう意味でレベル的に上がっている。</p>
<p>細谷委員長</p>	<p>単なる研修ではなくて、OJTで実践を交えているので素晴らしいと思います。他にいかがでしょうか。</p> <p>はい、木村委員。</p>
<p>木村委員</p>	<p>放課後事業として、教育長が仰っていた学校以外で何かあった場合に拾える場所としてよく分かりますが、区として子どもスキップ、学童保育はどういう位置づけか、例えばお家のかわりなのか、それともサードプレイス、子供たちの第三のコミュニティとか。よく民間がいろいろ関わる際に、第二の学校みたいな感じと言ったり、お家のように考える職員もいたりして、色々入り混じって難しい状況も見たことがありますので、区として子どもスキップをどのような位置づけと考えて、今後の方向性を考えているのか教えてください。</p>

<p>小野放課後対策課長</p>	<p>子どもスキップは学校の延長ではないと考えています。そのため、教えるとか、教育の一環として何かをやるといったことはありません。放課後ですので、子どもが安全にリラックスして過ごせる場所、まさに家庭の延長とも考えています。学校はある程度教育活動がありますが、ここは地域の方との連携でもある。子ども教室のような地域の高齢者の方を経験を活かした講座ですとか、スポーツが得意なお父さんにスポーツを教えてもらったりだとか、学校では学べない地域の方との学びの場、そういう面もあると思っています。そういう意味では、子ども達が自由に参加できる、放課後を安心安全に楽しく過ごせる場として位置づけております。</p>
<p>細谷委員長</p>	<p>教育長よろしいですか。</p>
<p>金子教育長</p>	<p>非常に鋭い、大きな論点である質問でございます。</p> <p>流れとして、児童館であったことを考えると、学校と児童館が別々であったことの経緯、保育園が新設されて、その延長で働いている家庭が子どもを預けたり、そういう意味では単に預けているといった認識の家庭もなきにしもあらずの現状で、当然そういったニーズも受け止め、各家庭に働いていただくのも区役所の仕事です。</p> <p>一方で、豊かな放課後時間を過ごしてほしいということがありますので、両方の潮流がちょうど混ざっているのが現状です。本区の場合は、初期から学校内で特徴としておりますので、徐々に学校内にいることの利点が活かせればと考えております。</p> <p>まだ、子どもスキップが教育委員会に移管されたばかりですが、これが馴染んでいきますと、学校・先生から放課後についてご提案やご意見をいただいたり、うまく融合していくといいかと思えます。</p>
<p>木村委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>細谷委員長</p>	<p>このあと、詳細な事業の説明がありますので、関連で何かあればそちらでご質問等お願いします。</p> <p>続きまして、議事の2番目の子どもスキップ運営事業について、放課後対策課長ご説明をお願いします。</p>

小野放課後対策課長	【資料２：事業分析シート（子どもスキップ運営事業）】
	及び関連資料について説明
細谷委員長	<p>ありがとうございました。各委員、何かご質問等ございますでしょうか。まず、私からよろしいでしょうか。</p>
	<p>いま、事故関係の資料で、経緯や推移も含めて発生報告がありましたが、気になったところが首からの上の事故です。割合として結構高いですね。校長の立場からすると首から上の事故が一番怖いかと思いますが、過去３年間の中で一番大きな事故は何がどういったものでしょうか。</p>
小野放課後対策課長	<p>今年度、雲梯で遊んでいて、腕の複雑骨折という非常に大きな事故がありました。</p>
細谷委員長	<p>すぐに適切な処置を行えましたか。救急車は呼ばれたんですよね。</p>
小野放課後対策課長	<p>そうですね。</p>
細谷委員長	<p>何かトラブルにあったということはありませんでしたか。</p>
小野放課後対策課長	<p>すぐに校長とスキップの所長が病院に行き、私も途中から行き、丁寧な説明を行い、学校とスキップでサポートする旨の説明を行い、その後特に後遺症もなく、今のところは納得してもらっております。</p>
細谷委員長	<p>今のところは大きなトラブルになったことはないということですかね。</p>
小野放課後対策課長	<p>けがの度合いより保護者の受け止め方にはよるが、裁判などのトラブルまではないかと。</p>
指導課長 木村委員	<p>スキップ内の出来事であっても、その後学校がどう支援していくかで、この状況は変わっていきます。当然、学校としては、サポートしていきます。今回の場合では、校長が救急車に同乗し、病院にかけつけ、結局スキップが１日の主体ではなく、学校生活が主体でありますので、小学校１年生であったこともあり、まだ頭身のバランスが悪くて、どうやって学校で教育活動に入れていくか、スキップ所長と校長がスキップにきてからの</p>

	<p>生活を確保する、学校の中での生活を確保することの連携が重要となるケースです。具体的には給食時には、補助食器を学校で用意し、補助食器を使って、一人で食べるような工夫を学校で行っているので、まさに学校とスキップが一体となっているからこそその連携が、両管理職が連携していることの背景があると認識しております。</p>
細谷委員長	<p>ケガの事例が一番連携の部分について分かりやすい例ですのでお伺いしようと思っておりました。今の説明で安心できました。</p>
副島課長	<p>その点が、スキップが移管された良さだと考えております。スキップには保健室がないため、歯が折れた時の対処ができなく、小野放課後対策課長が説明したとおり、移管後には学校の保健室を利用できたり、養護の先生のサポートを受けることができたりなど、非常に大きな成果だと考えております。</p>
細谷委員長	<p>学校の協力があるかないかで全く違います。先生の理解がスキップ事業に係る区民の信頼性が持てるかどうかの分かれ目だと思います。少し安心しました。</p> <p>他にご質問ございますか。はい、木村委員お願いします。</p>
木村委員	<p>平成 31 年度の事故発生報告についてですが、施設別の件数を拝見しているときに、施設ごとで規模が異なる側面もあるかと思いますが 31 年度は 30 年度より多いのですが、発生件数が多い背景をどのように考えておりますか。</p>
小野放課後対策課長	<p>件数が多かった施設の所長も認識しております。事故が多かったスキップについては特色がありまして、多国籍の子どもが多く、そういう意味では他の人数が多い子どもスキップと比べると、地域的にはまとまっており、必ずしも人数とも言えません。そういうこともあり、中国語を話せる職員を配置したりして、今年は件数が少なくなっている。職員の意識もかなり大きいと思いますので、競争するわけではありませんが、傾向をつかめております。</p>
細谷委員長	<p>木村委員よろしいですか。</p>
木村委員	<p>はい。</p>

細谷委員長	<p>年度によって異なる部分もあると思うのですが、区の契約上、その年だけ臨時職員を多くつけたりすることができますか。</p>
小野放課後対策課長	<p>人員に余裕がないため、普段はできていないのですが、今年は、新型コロナウイルスの影響で一般利用や子ども教室を休止しておりますので、今年はその担当に応援にいてもらう体制をとることができており、柔軟に対応できました。</p>
細谷委員長	<p>ありがとうございます。他に何かございますか。よろしいでしょうか。 それでは、この議事については終わります。 次に議事に進みたいと思います。 議事の（２）の②「学校施設整備の補助金」について、宮本学校施設課長、説明をお願いします。</p>
宮本学校施設課長	<p>【資料３：事業分析シート（学校施設整備の補助金）】 について説明</p>
細谷委員長	<p>ありがとうございました。何かご質問等ございましたら、各委員よろしくお願いたします。 それでは、一つ私からよろしいでしょうか。先ほど、ガス方式のエアコンもあるけど、電気方式にしたとのことですが、東日本大震災のときは、地区によって違うかもしれませんが、ガスよりもむしろ電気の停電の時間が長かった気がするのですが、その場合の電気のリスクとかはお考えになりましたか。</p>
宮本学校施設課長	<p>東日本大震災のときは電気よりもガスの復旧のほうが全体的に遅かったです。電気はだいたい１週間かからないぐらいに広い範囲で復旧しましたが、ガスの場合はいったん止まってしまうと復旧にかなり時間がかかってしまいますので、止まらなければ強いのですが、止まってしまうと復旧がなかなか難しい。 また、コストの面から考えると、電気とガスだと、ガスのとほうが割安です。そのため、学校の教室は日々使っていくため、豊島区は、比較的ガスエアコンを導入しております。逆に四六時中使うというよりは必要なときに使っていくような場所や非常時に復旧が早く求められるようなところはなるべく電気エアコンを設置しております。そういった考え方をもとに、電気を優先して入れたというところでございます。</p>

細谷委員長	<p>当然、施設を整備するハード面は補助金を使えると思いますが、光熱費は想定内で進んでおりますか。</p>
宮本学校施設課長	<p>導入する前はだいたい 20~30%ぐらい挙がるかと思ったのですが、令和元年度に設置し、今年度を迎えているので正直なかなか正確な数値はとりにくいのが現状です。昨年度はやめに導入した学校で、光熱水費の推移について一昨年前と比較したところ、10~15%ぐらいはあがっているかと思えます。しかし、その年によって、例えば夏でいうと、一昨年は猛暑で逆に昨年はそうでもなかった、やはり気候の影響によるところも大きいので一概にはいえませんが、今回、複写パネルというのを入れ、エアコンの設置台数を少なくし、冷房ノルンや暖房ノルンをキープしておりますので、その台数分をいれなかったことによる、本当は稼働させるはずだったものが、稼働させなくて済んだという部分では抑えることができたのかなという見方もできると考えております。</p>
細谷委員長	<p>よく分かりました。学校で勤務しておりましたから光熱費が気になっておりました。</p> <p>他何かございますか。</p>
岩井委員	<p>質問ではございませんが、一区民として体育館に冷暖房を設置していただきお礼申し上げます。</p> <p>PTA 行事の中でも、毎年この時期に PTA プールを実施していましたが、昨年は暑くてプールもできないということで、ちょうどタイミングよく子どもたちのために体育館で映画会を実施できて、大変子ども達も保護者の方も喜んでおりました。今年度は新型コロナの影響で集まるのが難しく、映画会は中止になってしまいましたが、今後も有効に子どもたちの夏の楽しみを PTA から提供できればいいなと感じております。本当にありがとうございました。</p>
細谷委員長	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p> <p>今後もある程度の想定の中で予算を確保していく必要がありますし、機器についても故障対応などの費用があるかと思えますが、予算の確保に努力していただけたらと思います。</p>
宮本学校施設課長	<p>今回、リース契約をした業者には、故障の対応もお願いしております。</p>

<p>細谷委員長</p>	<p>だいたい空調機器は15～20年ぐらいで更新の時期をむかえますので、その際には、改めてどういう導入方法が良いのか考えていきたいと思いません。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは本日の議事はこれで終了としたいと思います。</p> <p>各委員の皆様におかれましては、本日の質疑を通しまして、効率性・有効性の観点から評価を整理していただければと思います。</p> <p>今回は最終回ですので、3回を通しての評価の説明もあると思しますのでよろしくをお願いします。</p> <p>これで議事は終了とさせていただきます。</p> <p>事務局から何かあればよろしくお願いいたします。</p>
<p>副島庶務課長</p>	<p>次回最終回の日程は、1月28日（木）となります。コロナ禍でありますので、会議の在り方、所要時間等は改めて事務局からご連絡いたします。評価に際しまして、これまでの説明の中で疑問点・ご不明点ございましたら事務局までお問合せください。</p>
<p>細谷委員長</p>	<p>分かりました。各委員は、何かあれば事務局までご連絡ください。</p> <p>以上を持ちまして、第3回教育に関する事務の点検・評価委員会を閉会いたします。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">—— 閉 会 ——</p>

<p>提出された資料等</p>	<p>【資料1-1】教育に関する事務の点検・評価の実施について</p> <p>【資料1 別紙1】事業分析シート</p> <p>【資料1】令和元年度評価実施事業 取り組み状況報告（子どもスキップ・学童クラブ（放課後児童健全育成）事業）</p> <p>【資料2】事業分析シート【子どもスキップ運営事業】</p> <p>【資料3】事業分析シート【学校施設整備の補助金】</p> <p>【説明資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもスキップパンフレット「ようこそ 子どもスキップへ」 ・子どもスキップ一覧
-----------------	---

- ・新型コロナウイルス感染症の学童クラブ利用率への影響
- ・子どもスキップにおける安全管理について（職員用マニュアル）
- ・令和元年度子どもスキップ利用者会議（子ども会議）の開催実績

【参考資料 1】教育に関する事務の点検・評価委員会設置要綱

【参考資料 2】教育に関する事務の点検・評価実施要綱

【参考資料 3】点検評価別添資料